

只見町教育委員会が学校給食で

「県教育委員会教育長賞」受賞

10月30日、(公財)福島県学校給食会が主催する「平成29年度学校給食優良団体・功労者表彰式」が福島市内で開かれ、只見町教育委員会が「福島県教育委員会教育長賞(県産食材活用部門)」を受賞しました。

この表彰は、学校給食の内容が優良で、他の模範となる団体などに対してその功績を讃えるもので、只見町は地元産の食材を積極的に取り入れていることが評価されました。

今後も町給食センターでは、地元産の食材を活用し、細心の注意と丁寧な調理を心がけながら、美味しい給食を提供していきます。



▲受賞を喜ぶ給食センタースタッフの皆さん

郡音楽祭「金賞」で県大会へ!

只見中学校が菅家町長へ表彰報告

11月1日、第71回南会津小中学校音楽祭で「金賞」に輝き、県大会に出場した只見中学校特設合唱部の3年生4名と今井仁校長先生などが役場を訪れ、菅家町長に表彰の報告を行いました。報告では、合唱部の横山茜部長が「郡大会では金賞に入ることができて良かったです。県大会はレベルが高く良い勉強になりました」と話し、菅家町長は「皆さんの活躍大変うれしく思います」と述べました。

3年生の部員は、ラストステージとなる11月8日の「小中学校音楽祭」で、地域の方々に「金賞」に輝いた曲を披露しました。



▲菅家町長、橋本副町長、齋藤教育長へ表彰報告をした只見中学校の皆さん

只見町の地方創生を考える

片山善博氏「文化講演会」開催

11月4日、町文化祭事業の一環として「文化講演会」が朝日振興センターで開かれ、約80名が来場しました。

講師には、総務大臣や鳥取県知事などを歴任された片山善博氏(かたやまよしひろ)を迎え、「ただみからはじめる! 地方創生」をテーマに講演されました。講演では、「地方創生の効果を生み出すには地域の実態にあった対策を行うことが重要。そのためには、国の政策も地域の状況に合致するものを選び、自分たちで適合させていくことが必要」と話され、町の進むべき方向性を考える機会となりました。



▲地方創生の方向性を話す片山善博氏

火の用心を呼びかける

秋の防火パレードを実施

11月9日、只見町消防団や南会津広域消防署只見出張所などの方々による「秋の防火パレード」が行われました。これは、11月9〜15日までの秋季全国火災予防運動の一環として実施したもので、町内を廻りながら火災予防の広報活動を行いました。

防火パレードの途中では只見保育所を訪れ、五十嵐隆二只見出張所長と五十嵐あけみ婦人消防隊長が子どもたちに「火の用心」を呼びかけ、目黒邦友消防団長の号令により、子どもたちと消防団が「別れ」の礼式を行いました。子どもたちは「火の用心」の大切さを学びました。



▲子どもたちに風船を手渡す五十嵐所長

第55回只見町小中学校音楽祭

美しい歌声と迫力の演奏を披露



▲美しい歌声で会場を魅了した只見中学校特設合唱部の皆さん

11月8日、「第55回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で行われ、保護者や地域住民など多くの方々が来場しました。音楽祭では、各小学校の児童2〜4年生（明和小は3〜4年生）が合奏と合唱を披露し、只見中学校はのぞみ学級、特設合唱部、全校生の順に合唱を発表しました。今回、只見中の特設合唱部は、「金賞」に輝いた曲を披露し、その素晴らしい歌声で来場者を魅了しました。

閉会式では、小学生から「僕も只見中の合唱部に入りたい」との感想が聞かれました。

「放射線・防災教育フォーラム」

明和小学校で防災教育を推進



▲新潟・福島豪雨の災害を中心に、これまで学んだことを発表する菊地結雅くん

11月15日、県が主催する「放射線・防災教育フォーラム」が三春町で開催され、明和小学校5、6年生26名が参加しました。これは、明和小が防災教育の推進校として県の指定を受けたことによるもので、これまで自然豊かな町の自然災害や防災・減災について地域と連携して学んできました。

県内の小中学校7校が集まったフォーラムでは、明和小の代表として6年の菊地結雅くんが「自然が豊かだということと同時に自然災害も多いということ。自然と人間がうまく共生できるといえるような防災、減災を考えていきたい」と発表しました。

第2回誘致企業雇用対策意見交換会

各企業を視察し連携深める



▲ティーエヌアイ工業(株)只見工場を視察する参加者の皆さん

11月17日、町内誘致企業を対象とした「第2回誘致企業雇用対策意見交換会」が開かれ、町内誘致企業4社（(株)会津工場、ティーエヌアイ工業(株)只見工場、ヒロタテクノ(株)、(株)スマタフトオトニクス只見工場）と県・町の関係者が参加しました。今回は、8月2日の会議の中で意見が出された「企業間連携」をテーマに、各企業の視察や意見交換会などを行いました。

視察では、参加企業の工場をそれぞれ訪問し、製造ラインなどの確認を行いました。また、意見交換会では今回の視察を踏まえ、更なる連携について協議しました。

第3回ESD公開授業研究会

朝日小学校で教育研究を深める



▲只見の農産物や地産物を使った創作料理を考えた5年生の公開授業

11月22日、朝日小学校が主催する「第3回ESD公開授業研究会」が同校で開催され、町内外から教育関係者が参加しました。この研究会は、ユネスコスクール認定4年目を迎えた同校が実践している「只見愛の教育（ESD）」の取り組みを公開し、多くの教育関係者と教育活動について研究を深めるものです。

研究会では、児童の主体的な学びと教師の「ひとり（児童の表現を洞察し主体性を支えること）」の質を高め、コディネイトすることが重要とされ、公開授業・分科会・講演会が行われました。